



# こうだ人権会館だより

2017年  
3月号

編集・発行 甲田人権会館 電話・お太助フォン 45-4922

あなた自慢の



一コマの  
写真

## テーマ

人とのふれあい、家族のあたたかさ、  
命の大切さ、そして美しい四季の風景。



「生きてくてしかたがない！」  
石川峰美さん(八千代町)

予定日より早く、標準より小さく、元気よく泣き、お腹いっぱいミルクを飲む。とにかく早く生まれたかったみたいです。



「仲良し3匹きょうだい猫」  
大下素子さん(美土里町)

暑いのに、せまい箱の中に入っていました。私が田の水を見まわりする時も子犬のようについて歩きます。



「笑顔の集い」

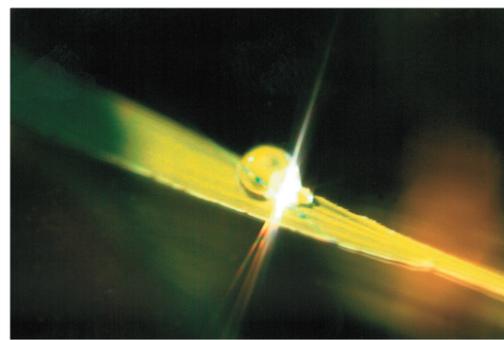
住田富子さん(甲田町)

サロンにて生徒を迎え交流会。部屋いっぱい笑顔はじける。



「子ども歌舞伎」  
金井由美子さん(甲田町)

5月子どもの日、吉中2年生の歌舞伎の時です。スポーツ好きで活発な女の子ですが、最後まで演じました。



「露の光」

沖田岩雄さん(八千代町)

朝、孫と田んぼを見に行つたとき、孫が「じいちゃん、あの光り、みて！きれいー」と言ったのでカメラを取りに帰り撮影しました。



「海猿にも負けじ」  
宇戸谷譲さん(向原町)

水難事故多発！救助にそなえて雨にも風にも負けず特訓の日々“頑張ってください”



「孫が剣道を始める日」

三戸幸恵さん(高宮町)

孫が剣道を教わる事になり、初めて剣道着を父親に着せて貰っているところです。



「息もぴったり！」

金井由美子さん(甲田町)

30年目を迎えた大土山田楽です。小田小学校の児童全員が音頭の歌に合わせて息もぴったり、苗を植えています。



「頑張れカーブ」

沖田岩雄さん(八千代町)

三次市吉舎町の花火大会を見に行ったとき、川に泳ぐ鯉を見てカーブを応援しているようでした。



「田園風景」

大下素子さん(美土里町)

毎年、30プランターのペチュニアを植えては楽しんでいます。出来る間は頑張りたいと思っています。



「『ムササビ』と『インコ』と娘」

三戸幸恵さん(高宮町)

娘が小学校6年生頃の写真だと思います。「ムササビ」は家に来た時は子どもでしたが成長して山に帰っていきました。一度だけ顔を見せに家に来ました。「インコ」は8年ぐらい居ましたが老衰で、口ばしで歩いていましたが、力つきて亡くなりました。名前は「りゅう」でした。今いる犬の名前も「りゅう」になりました。



「高さに留意」

宇戸谷譲さん(向原町)

昔は段数を競いましたが、さて今日のカメラマン狙いは？

今年度の写真は、地域間交流での笑顔の写真、家族への思いやりや優しさが伝わる写真、また動物とのふれあいや思いが伝わる写真や、地域での世代間交流の笑顔の写真、命について考えさせられる写真、自然のすばらしさと感性が伝わる作品など、「あなた自慢の一コマの写真」のテーマそのものが、とても強く伝わってきました。

市内から応募されたやさしさがつまったほっとする写真を通し、人権について考える機会としていきたいと思っています。